

県大発！大好きブラジルプロジェクト！！

近江楽座

バンデイラ・ジ・オウロ

Bandeira • de • ouro

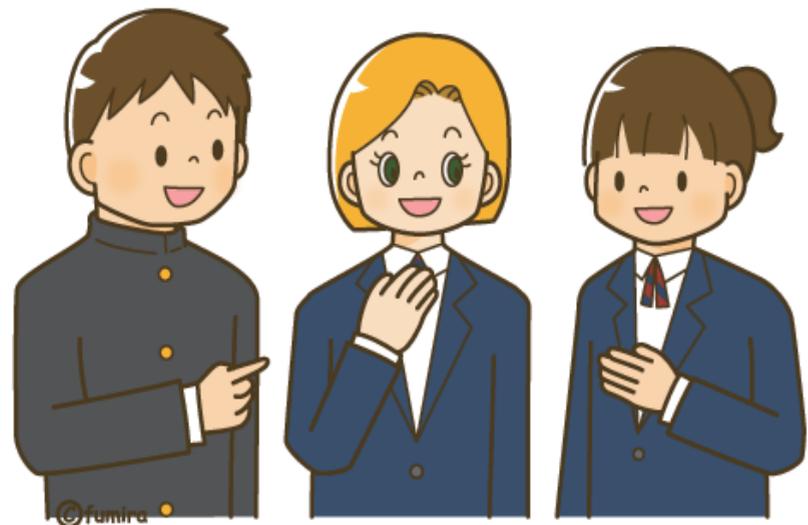


2013年度版 活動紹介冊子

はじめに

この冊子は、近江楽座チーム
バンデイラ・ジ・オウロの
活動紹介冊子2013年度版です。

私たちチームについてや、
2013年度のチームの活動に
ついて紹介していきます。





1. バンデイラ・ジ・オウロとは?…p.1~2
2. 活動の背景…p.3~4
3. 事業①進学サポート事業…p.5~6
4. 事業②レクリエーション事業…p.7~10
5. その他の活動…p.11~12
6. これからの活動…p.13~14

1. バンデイラ・ジ・オウロとは



バンデイラ・ジ・オウロとは!?

「子どもたちの教育を何とかしたい!!」

チームバンデイラ・ジ・オウロとは、
滋賀県立大学の近江楽座の
1つのプロジェクトで、
主に外国籍を中心とした子どもたちの
教育を支援するグループです。

子どもへの心理的な近さを活かして
「お兄さん、お姉さん」といった
立場から、子どもと触れ合うことで
子どもたちの成長に関わり、
子どもたちが日本で生活して
いくためのきっかけ作りを
目指しています。



近江楽座とは??

「近江楽座」は、大学の総合力、教員の専門性、学生の行動力を源に、地域活性化への貢献を通して地域社会へ根付いていくプロジェクトを募集し、所定の審査を経て採択されたプロジェクトに対して、調査、研究、活動等経費を助成するものです。

活動内容は??

現在バンデイラ・ジ・オウロでは、主に4つの活動をしています。

- 放課後学習支援事業(週2回程度)
- レクリエーション事業(月1回程度)
- 進学サポート事業(週2回程度)
- 勉強会(年3回程度)

2. 活動の背景



滋賀県の現状

2012年12月の時点で滋賀県の外国籍住民のうち、ブラジル人は県内最多の7873人を占めています。しかし近年のリーマンショックや震災による経済不況のあおりを受け、真先にブラジル人をはじめとした外国人労働者が雇用から切り捨てられ、生活が脅かされています。

子どもたちの現状

そんな中、特に心配されるのが外国人の子どもたちの教育問題です。子どもたちには主に2つの選択肢があります。ブラジル人学校か、公立学校に通うかです。しかし、どちらの学校に通う場合も、学校生活を送る上での困難が多く、「満足に教育を受けることができない」といった状況に陥っているのです。その結果、子どもたちの将来の選択肢が狭められ、非正規雇用など不安定な職にしか就けない場合も多いのです。

ブラジル人学校

日本語が話せない場合ブラジル人学校に通うことが多いのですが、ブラジル人学校には公費の助成がなく、生徒の授業料負担で成り立っており、経営が不安定な場合も多いです。

公立学校

公立学校における外国人児童・生徒へのケアは十分とは言えず、授業についていけない、周囲から孤立してしまうなどの問題があります。

子どもたちはどうすればいいのでしょうか？
学校に通えなくてもいいのでしょうか？
授業がわからないままでもいいのでしょうか？



3. 事業③進学サポート事業



進学サポート事業

この事業は主に外国籍の進学を希望する子どもの学習支援を行うというもので、近江八幡で活躍をされているワールド・アミーゴ・クラブの活動にボランティアという形で参加させていただきました。

ワールド・アミーゴ・クラブ

進学を希望する外国籍の子どものために勉強会の開催などの活動を行われています。

外国籍を中心とした子どもたちに、学校の宿題や日本語を学習する機会を提供するとともに、ゲームや食を通じてそれぞれの母国の多様な文化交流を行い、日常生活を楽しく、健全に過ごすことができるよう支援し、児童・生徒とボランティアとの交流によって国際理解の促進を図り、これらによって多文化共生社会の実現に寄与することを目指されています。

発展する事業

ワールド・アミーゴ・クラブでの学習支援を通して私たちはどのように外国籍の子どもと接し、どのように支援をしていけばいいのか学ぶことが出来ました。

そして、彦根市でもバンディラとして同様の活動を始めたいと考え、12月からは彦根市の中央中学校に活動の場を移し、新たに受験生のサポートを開始しました。

「日本人生徒」と「外国籍の生徒の学習支援」では求められるスキルが大きく異なります。例えばワールド・アミーゴ・クラブで生徒に勉強を教える際は、普段気にしないような日本語の用法を意識して教える必要がありました。



ワールド・アミーゴ・クラブで学び得た知識や経験は現在の中央中学校での活動に活かされています。これからもこうしたスキルをもっと磨いていくために努力していこうと思います。

4. 事業②レクリエーション事業



ペケーノポレガール

週2~3回、放課後に彦根市にあるブラジル人学童兼保育園で活動しています。これまでは宿題指導を中心にしてきましたが、今年度からはイベントを中心に活動します。

今年は毎年恒例のシャボン玉遊びとクリスマス会を企画しました。



2012.8月
シャボン玉遊び

サンタに扮したメンバー



2012.12.22
クリスマス会

クリスマス会

クリスマス会の準備をお手伝い。
私達もケーキやプレゼントを用意しました！
そして迎えた当日、なんと50人？は超えると思われ
るたくさんの方が来られました。
親御さんたちが作られた手料理。
飾り付けは全部園長さんが徹夜してまでやってくれ
ました。
親御さんたちも、子どもたちもそして私達も充実した
時間を過ごすことができました。

8

事業②レクリエーション事業



コレジオ・サンタナ

愛荘町にあるブラジル人学校「コレジオ・サンタナ」では、月に1度子どもたちが楽しめるような趣向こらした授業を行ってきました。
☒工や音楽、理科実験などの多様な授業を楽しみながら、普段日本人と話す機会の少ない子どもたちが日本の文化や私たちの話す生きた日本語に触れる機会を提供することを目的にしています。



2012.7月
七夕短冊作り

9

これまでの活動

- 6月 万華鏡を作ろう
- 7月 七夕飾りを作ろう
- 8月 大きなシャボン玉を作ろう
- 9月 手のひら発電を体験！バイオディーゼルについて学ぼう
- 10月 ハロウィンパーティー
- 11月 湖風祭への参加



コレジオ・サンタナには理科室や家庭科室といった教室がなく、また、通常の学習に加え日本語の学習も取り入れているので、理科や図工や音楽などの子どもたちが楽しめる授業が少ないといった状況にあります。授業を企画することによって、少しでも子どもの体験による学びの機会を増やしていきたいです。

5. その他の活動



研修事業

静岡県浜松市にある静岡文化芸術大学に
いってきました。私たちと同様に外国に
ルーツを持つ子どもたちの支援をしている
グループのメンバーと交流しました。

この他にも年に三回講師をお招きして
メンバーの勉強会を行っています。
今年度はワールド・アミーゴ・クラブの代表の方や
滋賀県公立学校の日本語指導員の方などに
貴重なお話をさせていただきました。



2012.8.27

@ 静岡文化芸術大学

6. これからの活動について



活動の方向性

今年からスタートした中央中学校での進学サポート事業をもっと充実させていきたいと考えています。

特に私たちが指導する外国籍の生徒は、高校受験に向けて勉強をしているということで、私たちもその目標に向けて出来る限りのサポートをしていきたいです。



2012.5月/2012.11月
@彦根学園

ボランティア

彦根学園の学園祭で、視聴覚障害者福祉団体「あおい企画」さんの模擬店のお手伝いをしました。

2012年でこのボランティアも3年目。収益はあおい企画さんの活動に当てられます。

さらなる目標！

また2月23日には、彦根市の小学校に通う外国人児童に対して、彦根市役所と共同でイベントを開催しました。

今回は異なる小学校に通う外国人児童がふれあう機会を設けることが目的でしたが

また今後は、外国人児童だけではなく、日本人の児童に対しても、外国の文化について知ってもらえる楽しいイベントを企画し、体験してもらうことで、外国人児童のことをもっと身近に感じて貰いたいと思っています。



このような活動を通して、日本人にとっても外国人にとっても住みよい地域、多文化共生社会の構築のために私たちは貢献していきたいです。

おわりに

バンデイラ・ジ・オウロとはポルトガル語で「金の旗」という意味です。「日本とブラジルの国旗の色を合わせたら金色になる！」と子どもたちが名付けてくれました！

もしかすると実際には金色にならないかもしれませんが…しかし、私たちはそんな風に金色に輝けるような活動を目指していきたいと思っています。



高橋 篤史
共田 雄基
三宮 広之
西田 葵
廣島 泉
吉田 祐輔
谷口 理恵
石田 みずき



Address: 〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

近江楽座事務局 滋賀県立大学 地域共生センター

Tel: 0749-28-8616

Fax: 0749-28-8473

E-mail: bandeiradeouro@yahoo.co.jp

さしえ：わたなべふみ <http://www.fumira.jp/>

2013 年度バンディラ・ジ・オウロ活動紹介冊子

2013 年 3 月 31 日